

Japan Association for African Studies, Kyushu Branch



# POLEPOLE

Admission Free  
入場無料

## TALK & LIVE 2019 NAGASAKI

ア  
フ  
リ  
カ

10/23

18:00-20:30

長崎大学文教キャンパス

# 長崎創楽堂

2019の長大ポレポレは「ぶっちゃけトーク&ライブ」

ケニア在住30年越えの早川千晶、ドゥルマ民族の伝統継承者になった大西匡哉、エチオピアのバンナ民族で長老格に出世してしまった増田研の3人が、アフリカとの出会いと付き合い方をめぐるはちゃめちゃと披露します。もちろん、アフリカの歌と踊りも全開!



大西 匡哉 (Masaya ONISHI)

ケニアのドゥルマ民族の村で、伝統文化継承者スワレ・マテラ・マサイ氏に師事し、8年間に渡るケニア音楽修行を終え2013年帰国。ドゥルマ民族の伝統打楽器「ソゴマ・ソネ」に独自の楽器を加えたセットや、アフリカンスタイルを取り入れたアコースティックギターなどで、オリジナリティ溢れるライブを展開している。2014年、ソロアルバム『Tuvute Pamela-みんなで引っ張ろう!』をリリース。2016年、ブルキナファソ出身のミュージシャン、Benoit Millogo氏、山北紀彦氏とともに、BALANGOMA結成。2017年、『Yiriba-大きな樹』をリリース2018年、ドゥルマ民族の伝統音楽センゲニヤの継承者・14名の旗持の1人として正式に就任。聖地カヤダムラへの民族回帰計画のサポートを開始。Sengenya Japan代表。



早川 千晶 (Chiaki HAYAKAWA)

ケニア在住31年。キベラスラムのマゴソスクール運営者。撮影コーディネーター、通訳、ライター、「アフリカに深く触れる旅」案内人。1999年、ナイロビ最大級のスラム・キベラで、孤児・ストリートチルドレン・貧困児童のための駆け込み寺「マゴソスクール」を設立、ミリティーニ村にジュンバラ・ワトト(子どもの家)、キベラスラム出身の高校生・大学生の奨学生グループ「マゴソBOGクラブ」、マゴソ洋裁作業所、障がい児特別学級などを運営している。2015年度第5回賀川賞受賞。2018年ドゥルマ民族の旗持に就任。



増田 研 (Ken MASUDA)

エチオピアに関わって26年たつアフリカ研究者。近年は研究拠をケニアやタンザニアに移しつつある。現在の専門はアフリカにおける未来の高齢者ケアだが、ここ数年は海岸での陶磁器カケラ収集と、タイル研究に没頭している。耳コピアニスト、料理人、情報デザイナー、イベント・コーディネーター。日本アフリカ学会九州支部副、日本国際保健医学会評議員、日本ナイル・エチオピア学会評議員、長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科准教授



# 出 会 い の 方 式

ぶっちゃけ  
TALK  
&  
MUSIC

付  
き  
合  
い  
方  
そ  
し  
て

主催：日本アフリカ学会九州支部 共催：多文化社会学部アフリカハウス  
Contact: ken-m@nagasaki-u.ac.jp (長崎大学 増田 研)